HISTORY

三機工業のあゆみ

当社は、大正、昭和、平成、令和の4つの時代にわたり、日本の産業の発展とともに、自らの歩みを続けてきました。「エンジニアリングをつうじて快適環境を創造し広く社会の発展に貢献する」という三機工業グループ経営理念のもと、2025年の創立100周年を見据えて、これからの新しい時代を「技術の力」で拓いていきます。

三機工業　社名の由来

旧三井物産株式会社の機械部を母体とすることから「三機工業」と命名しました。

1925～ 時代のニーズに応え技術力の礎を築く

- 暖房、衛生、建材などの事業を開始
- 電気設備の事業開始
- 日本初の全館冷房設備を「三井本館」に施工

三井本館

初代社長
安本明治郎

1930～ 多角化と拡充により技術力を拡大

- 三機式ビル用焼却炉を開発し、三信ビルに設置
- 米国キヤリア・エンジニアリング社と共同で東洋キヤリア工業を設立し、冷房設備工事を開始
- 「東京日本生命館（現 髙島屋日本橋店）」施工

東京日本生命館

三信ビル

1940～ 建築ブームを支えた三機の最先端技術

- コンベヤの製造開始
- 米国ドル社・オリバー社との鉱業化学用機械の販売契約を結ぶ
- 日本初の受電圧に特別高圧22kVを採用した「第一生命本館」を施工

第一生命本館

1950～ 積極的な技術革新

- 日本初の全館蛍光灯照明を採用した「大正海上火災ビル」を施工
- 都市環境衛生への対応として、し尿処理施設などを手がける
- 第2次南極地域観測隊にローラコンベヤを納入

し尿処理場

1960～ 時代のニーズに応えメーカー色を強める

- 日本初の超高層ビル「霞が関ビルディング」の空調・衛生・電気設備を施工
- 規格型「6Sサッシ」を開発、スチール製サッシメーカーとしてトップシェアを占める
- 東京オリンピック・パラリンピックの競技場である「国立代々木競技場」の空調・衛生工事を施工

国立代々木競技場（当時）

6Sサッシ

1970～ 多方面にわたる技術革新

- 日本初の大規模クリーンルーム「日本電気相模原工場」を施工
- 世界初の完全無人化自動仕分けシステムや空港貨物ハンドリングシステムを開発
- 中東などの衛星通信地上局の空調設備、ロシアの自動車試験設備などを手がける

クリーンルーム

1980～ 新たな事業への挑戦

- 情報通信事業を開始
- オフィスの統合や移転を行うファシリティシステム事業を開始
- 各設備の運転管理・保守・メンテナンスを請け負うグループ会社を設立

ファシリティシステム事業

1990～ 「環境」と「情報」技術の推進

- 氷蓄熱システム、下水の高度処理、ファジー燃焼制御技術などの環境関連技術を開発
- 医薬工場、半導体工場などのクリーンルーム関連技術を開発

下水の高度処理施設

2000～ 急速に進む情報化社会に対応

- LANやビル監視・自動制御などのネットワークシステムの高度化
- 省エネルギービジネスを推進・開発・営業支援するため、「エネルギーソリューションセンター」を設立
- 液晶パネルや有機ELの需要が高まり、クリーン搬送設備を開発・販売

クリーン搬送

2010～ LCE事業を強化し、持続可能な社会に貢献

- 企画・設計・施工から保守・運転管理・改修・建替えまで建物・設備のライフサイクルを支えるLCE※事業を推進
- 設計・建設と運営・維持管理を一括受託するDBO案件を受注
- 「虎ノ門ヒルズ ビジネスタワー」の空調設備・中央監視・自動制御を施工
- 東京2020オリンピック・パラリンピックの競技場である「国立代々木競技場第一体育館」の空調・衛生・電気設備（改修）を施工

※LCE：Life Cycle Engineering

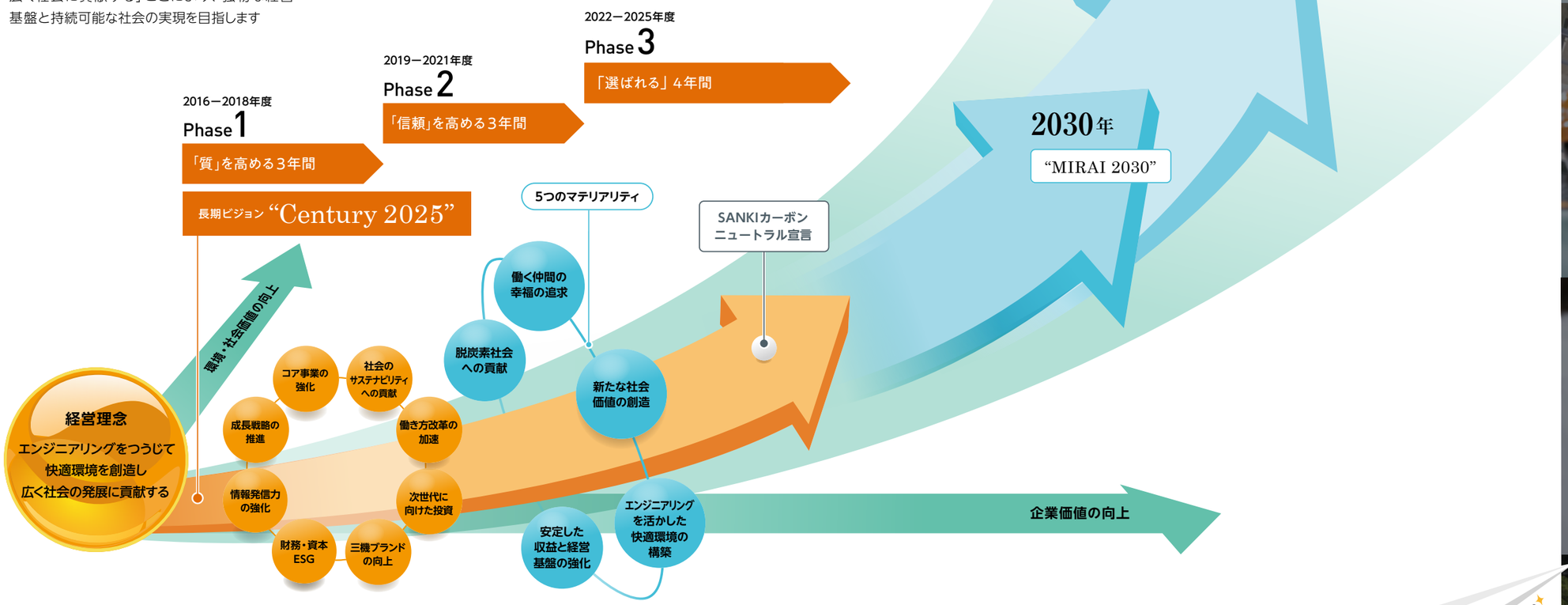
国立代々木競技場第一体育館

	創立 1925	1920	1930	1940	1950	1960	1970	1980	1990	2000	2010
当社のあゆみ		1925年4月22日 •三機工業株式会社創立 •資本金50万円、従業員12名	1931年 本社を日比谷へ移転 1935年 創立10周年。5支店、6出張所、関係会社3社、従業員約300名		1950年 •国内景気の浮揚を背景としたビル建設・設備拡充により業績が向上 •東京証券取引所に上場 1958年 資本金が10億円を超える	1963年 相模工場（現在の三機大和地区）竣工、コンベヤの大量生産に適した生産設備を保有	1971年 環境保全総括室を設置 1973年 サッシ事業の分離	1982年 技術研究所を新設		2000年 湘南研修センター開設 2005年 本社を日本橋へ移転	2011年　本社を築地へ移転 2015年　創立90周年 2016年　長期ビジョン"Century 2025"スタート 2018年　三機テクノセンター全館運営開始 2019年　大和プロダクトセンター運営開始
世の中の動き		1923年 関東大震災		1945年 終戦	1958年 東京タワー開業	1964年 東京オリンピック	1970年　大阪万博 1972年　沖縄返還	1986年 男女雇用機会均等法施行	1991年　バブル経済の崩壊 1995年　阪神淡路大震災 1997年　京都議定書採択	2008年 リーマンショック	2011年　東日本大震災 2015年　SDGs採択 2019年　令和に改元

2050年のあるべき姿
「選ばれ続ける三機へ!」に向かって、サステナビリティ経営を推進します。

2022
サステナビリティ方針策定

「エンジニアリングをつうじて快適環境を創造し広く社会に貢献する」ことにより、強靭な経営基盤と持続可能な社会の実現を目指します



	2020
当社のあゆみ	▶2022年 •サステナビリティ方針を策定 •SANKIカーボンニュートラル宣言
世の中の動き	▶2020年 新型コロナウイルス感染症の世界的流行 ▶2021年 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会 ▶2022年 ロシアのウクライナ侵攻

2025年 創立100周年